



おしえてさ

学校便り No.5

令和8年8月28日(金)発行
知名町立知名小学校
TEL:93-2063 FAX:93-3987
大島郡 知名町知名 333 番地

泥の中の輝きに学ぶ

～有明高校が教えてくれた「レジリエンス」と「信頼」～

校長 長井 忠 寅

去る7月28日に発生した「令和8年熊本地震」。余震への不安や長引く避難生活など、被災した熊本の地は重苦しい空気に包まれていました。そんな暗雲を吹き飛ばすかのように、甲子園の舞台上で鮮烈な光を放ったのが、初出場にしてベスト8まで駆け上がった有明高校野球部の姿でした。

泥だらけになりながら、一球に執念を燃やす彼らの「諦めない野球」は、被災地の子供たちや私たち大人に、言葉を超えた勇気と希望を与えてくれました。

そして彼らは、現代を生きる私たち大人が、子供たちを育む上で大切にしなければならない極めて重要なことを教えてくれました。

まず、**ピンチの時こそ「楽しむ心」と「笑顔」を持つ強さ**です。福島代表との3回戦。緊迫した終盤、一打同点・逆転の勝負どころでバッターボックスに向かったのは、甲子園初打席となる代打の廣沢選手でした。極限の緊張状態にあってもおかしくない場面で、彼は「この大舞台を楽しむ」と心に決め、意識して「笑顔」を作って打席に立ったと言います。結果、見事な2点タイムリーヒットを放ち、劇的な逆転勝利を呼び込みました。大人社会でも、困難やプレッシャーに直面すると、つい表情が硬くなり、心に余裕をなくしてしまいがちです。しかし、不安や緊張の連鎖を断ち切るのは、実は「意図的に作る笑顔」や「今ある状況を前向きに捉え直すユーモア」です。私たち大人がまず笑顔で日々を乗り越える背中を見せることが、子供たちが困難に立ち向かうしなやかな心(レジリエンス)を育てる最高の教科書になるのではないのでしょうか。

次に、**アクシデントを結束力に変える「揺るぎない信頼関係」**です。3回戦の直前、先発予定の投手がケガで離脱するという大きな不測の事態がチームを襲いました。しかし、急遽マウンドを託されたエースは、「後ろには信じ合える仲間が守っている。自分は全力で投げるだけだ」と語り、気迫のピッチングで完投しました。個々の不完全さを補い、背中を任せ合える絆があったからこそ、窮地を「最高のドラマ」へと昇華させることができたのです。これは、学校・家庭・地域の関係にも通ずるものがあります。子育てや教育の現場では、時として予想外の出来事や課題が起こります。そんな時、お互いを批判するのではなく、**「私たちはチームであり、お互いを信じて最善を尽くそう」**という協調の姿勢こそが、子供たちに圧倒的な安心感を与えます。有明高校の夏は準々決勝で幕を閉じましたが、彼らが残した「笑顔のレジリエンス」と「確かな信頼の絆」は、私たちの心に深く刻まれました。この話は、出校日の全校朝会で取り上げ、子供たちと共に選手を称えました。子供たちがこれから歩む未来には、多くの不確実性が待ち受けています。本校におきましても、困難に直面した時こそ前を向く「笑顔の強さ」と、お互いを認め、支え合う「仲間を信じる温かさ」を学校教育の根幹に据え、一步一步、教育活動に邁進してまいります。今後とも、保護者・地域の皆様の温かい御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 学期の保護者評価の特記事項のQ & A

Q 学級 PTA は、各学期 1 回で良いのではないのでしょうか。出席率もよくないので。

A 次年度以降の PTA の回数につきましては、職員や、PTA 三役と協議を行っていきます。方向性が決まり次第、お伝えいたします。

Q 人数が少ないクラスの専門部の人数の偏りなどもあるので、これからの少子化を考えると、専門部を減らす等考えてもいいのでは？

A 職員や、PTA 三役とも協議を行い、よりよい活動になるよう進めていきたいと思います。

Q 集金の安全性を考えるのであれば、振り込みが一番良いのではないのでしょうか。知名町内の学校の多くは振り込みだと聞いています。

A 現在、検討中です。保護者の方々にとって、負担の少ない方法にしていきたいと考えています。

Q 水泳の指導員を増やしていただけると、もっと泳げる子が増えると思います。高学年になると先生も異性の体を触れないようにしているのか、同性ばかり指導しているのが目立った。また、はしっこの生徒まで指導されず、上達しない。

A 教員の数には法律で決まっているため、増やすことができません。指導に関しては、職員研修等の機会を設け、授業力・指導力の向上に努めていきたいと思います。

Q 夏休み期間、学校でのプール学習などどうでしょうか。

A 水の管理には多額の予算が充てられています。期間を延ばすと、更に予算を要するため、難しいと考えます。

Q 知名っ子フェスティバルを全学年で行っても楽しそうです。

A おっしゃるとおりですが、本校は各学年で、特色ある活動を実施しています。様々なことを考慮すると全校での実施は難しいと考えます。

Q 学校の欠席連絡、いつでもできるようにはなりませんでしょうか？（現在は 6～8 時で決まっているようで）

A 子どもさんの様子を確実に把握するために、時間設定をしています。また、朝の勤務が始まりますと、職員は、授業等の関係で連絡を見るタイミングがなかなか取れません。8 時以降の連絡は、電話で学校へお願いいたします。

Q 町がお金を出し、個別最適化の学習できるアプリを導入しているのに活用しきれていない。ドリルなどで余計な金、チェック等が発生しているため、早急に家庭学習に活用できるようにして下さい。税金の無駄です。

A 学年によっては、1 学期もタブレットの持ち帰りを行っていましたが、2 学期以降は、より積極的に持ち帰りを行い、AI ドリル等家庭学習の充実につなげていきたいと思っています。

- ・いつも子どもたちのために朝早くからありがとうございます。
- ・地震発生時には、迅速にご対応いただきありがとうございました。連絡や避難についても、適切にご対応いただき、安心することができました。こどもたちの安全を第一に考えて下さり、心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

※貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございました。すべてのご意見の掲載はできませんでしたが、ご質問等ある場合は、管理職まで連絡いただければと思います。2 学期もよろしくお願いいたします。